

# ご近所のお医者さん

□  
658  
□

松本内科クリニック院長 **松本専さん** 一大阪市中央区

## 「ごつい咳の原因は？」

新型コロナウイルス禍となり、咳に敏感になる人が増えた印象があります。以前も風邪を引いて咳をしている人や、単に咳払いをしている人もそれなりにいました。しかし、咳による飛沫が何れも飛び、それから感染するということとが多くの人に認識され、「ソーシャルディスタンス」といった言葉も知れ渡り、単なる咳払いもしにくい世の中になった気がします。

新型コロナウイルスの後遺症としても



## 見極め治療 根気強く

咳症状はよく知られています。コロナ禍において「咳が止まらない」と言われて受診される患者さんも多くいました。2023年5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行し、ワクチン接

れなくなり生活習慣が乱れ、かなりのストレスとなりますので、まずは内科診療所の先生に相談してください。そして胸のレントゲンを撮ってもらいましょう。大きな病気がないことを確認したら咳の原因を見分けながら治療を考えていきます。頻度として多いのは気管支喘息の吸入薬が有効な「咳喘息」です。また、消化管の病気で「胃食道逆

種の効果やウイルスの変異の影響もあるのか、後遺症の訴えは減った印象がありますが、やはり、咳が止まらないため受診される患者さんは一定数おられます。

そのうち治ると様子を見ていたら予想外に何週間も続くと、咳というのは結構な筋肉を使うため、筋肉疲労が起こって胸が痛くなったり、時には肋骨を折る人もいます。日常生活に支障をきたすようになると、夜も眠

「府医師会医療問題研究委員会委員」